

	申請者氏名	竹原 良祐
論文名	High-pressure ESR Study on Pressure-induced Nonmagnetic-magnetic Transition in Spin Gap System $\text{Cu}_2(\text{C}_5\text{H}_{12}\text{N}_2)_2\text{Cl}_4$	
国際会議名	ISMAR-APNMR-NMRSJ-SEST2021	
開催地	online	
参加期日	2021年8月22日～27日	
<p><b>参加目的：</b>申請者は、<math>\text{Cu}_2(\text{C}_5\text{H}_{12}\text{N}_2)_2\text{Cl}_4</math>というスピンギャップ系物質において、圧力誘起の非磁性-磁性転移を発見した。本系に関しては先行研究があるが、本研究では先行研究とは異なる圧力効果を観測しており、発表ではこれらについて世界の第一線の研究者と活発に議論したいと考えている。そして議論を通して新たな課題等を見出し、今後の研究の進め方に生かしたい。</p>		
<p><b>会議の状況：</b>申請者にとって初の参加となる国際会議はオンライン上で行われた。本会議では NMR や EPR、MRI に関する最先端の研究に関する報告が口頭発表とポスター発表によってなされた。Mixing time と呼ばれる発表者との意見交換のための場が設けられており、発表者と聴講者の双方向のコミュニケーションが十分に取れるような仕組みになっていた。</p>		
<p><b>成果概要：</b>申請者はスピンギャップ系物質 <math>\text{Cu}_2(\text{C}_5\text{H}_{12}\text{N}_2)_2\text{Cl}_4</math> における非磁性-磁性転移の高圧下 THz ESR 測定による研究についてポスター発表を行った。発表内容について、国内外の研究者の方とコミュニケーションを取り、意見を交換することが出来た。特に、コアタイムの1時間は多くの質問を受け、「発表について世界の第一線の研究者と活発に議論したい。」という参加目的を達成することが出来た。初めは英語でのやりとりに慣れておらず苦戦したが、やりとりを繰り返すうちに徐々に慣れていくことが出来た。この発表を通して自分の研究に対する様々な視点を知ることが出来、自分では気づくことが出来なかったことにも気づくことが出来た。この経験を今後の研究活動に生かしたいと考えている。</p> <p>また、発表の聴講にも積極的に参加し、世界の最先端の研究に触れた。特に EPR 分野の発表では、私が行っている ESR を用いた研究と関連の深いものがあり、刺激を受けた。本会議では EPR をはじめ、様々な分野の研究に関して自らの知見を広め、深めることが出来た。</p>		